

規制・制度改革の今後の推進に係る基本的考え方(たたき台)

規制・制度改革を推進すべき重点事項の検討をするに当たり基本的な考え方を整理したい。

◇消費者・ユーザーに対する多様な選択肢の確保

消費者・ユーザーの多様なニーズに対応して、生産者・サービスの提供者が多様な製品・選択肢を提供しようとする場合において、障害となっている規制・制度があれば、直ちに改革すべきこと。

◇多様な選択肢を確保する公正な競争条件の整備

生産・サービスの提供に際して、相互に代替が可能である場合には、提供者相互の規制については、イコール・フットイングが図られるべきであること。

◇「事件」に対する過剰対応の見直し

事件（又は予想される事件）への対応のための規制が過剰でないか徹底的に見直しを行う。仮に規制の必要が認められるとしても、参入規制や官の独占によるのではなく、より制限的でない規制によるべきこと。

◇多様な主体の参画によるセキュリティの確保

健康福祉、エネルギー、食料、信用秩序等、各種の規制におけるいわゆるセキュリティ（安心・安全等）の確保については、市場における多様な主体の参画や競争、新領域の拡大等によってもたらされるイノベーションにより強化されるべきものであること。

◇民間の活力による社会的課題の解決

社会的課題への解決策の提供は、まず民間の活力により市場において自律的・自発的に解決策が提供されていくことを基本とし、これを阻害する規制・制度があれば、直ちに改革すべきこと。